

市立矢本中央幼稚園のあり方について

1 経 緯

市立矢本中央幼稚園については、昭和 47 年の開園から現在まで 46 年の間、公立の幼稚園として、教育要領に基づく幼児教育の蓄積と幼児一人一人の個性を大切に、遊びを通じた仲間づくりと社会性などを身に付ける指導を行い、家庭・地域とも連携した保育の場を提供してきました。その間、多くの職員と保護者及び関係者の協力と関わりによって、多くの園児を義務教育課程へ引き継いできています。

これまでの間には、少子高齢化や雇用等の社会環境の変化等により、子育て支援・保育に係るニーズが多様化にしていくなかで、「行財政改革集中プラン」において公立幼稚園民営化の検討により、2 園あった公立幼稚園の統合（大曲→矢本中央）を図ったほか、将来的に矢本中央幼稚園の段階的な見直しを行うこととされてきました。

子育て支援制度の改正などにより保育環境の充実も進められる中で、令和元年 10 月からは国が進めてきた幼児教育の無償化が実施されることにより、幼稚園と保育所等の保育料について保護者負担が軽減されることとなります。

このようなことから、公立幼稚園のメリットの一つである保育料負担が安価であることがなくなるため、矢本中央幼稚園の廃園等を含めた東松島市の幼児教育のあり方について検討が必要となっています。

2 本市の幼児教育を取り巻く現状について

(1) 乳幼児人口の推移

市全体の乳幼児人口の推移は、表 1 のとおりで年々減少しており、平成 27 年度から令和元年度まででは 4 年間で約 6% 減少しています。

今後の人口推計でも、減少傾向にある状況です。

表 1 東松島市乳幼児人口の推移 (各年 5 月 1 日現在 単位：人)

| 区 分 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 0 歳児 | 314 | 319 | 322 | 293 | 291 | 278 |
| 1 歳児 | 340 | 333 | 344 | 324 | 299 | 296 |
| 2 歳児 | 332 | 339 | 335 | 346 | 318 | 308 |
| 3 歳児 | 318 | 338 | 337 | 337 | 355 | 323 |
| 4 歳児 | 356 | 321 | 334 | 338 | 341 | 349 |
| 5 歳児 | 311 | 364 | 324 | 343 | 338 | 339 |
| 合 計 | 1,971 | 2,014 | 1,996 | 1,981 | 1,942 | 1,893 |

3 市内幼稚園の現状について

(1) 矢本中央幼稚園の園児数と定員充足率の推移

東松島市内には現在、幼稚園は矢本中央幼稚園のほかに私立3園（鳴瀬幼稚園、のびる幼稚園、矢本はなぶさ幼稚園）の計4園が開設されています。

矢本中央幼稚園の園児は表2のような推移となり、園児数は年々減少し平成26年度から令和元年度までの5年間で約49%減少しています。

なお、東松島市内の幼児数は、少子化の進行から年々減少（表1）しており、今後も減少することが予想されます。幼児教育自体に対する市民のニーズは高まっていますが、市内幼稚園の定員には余裕がある状況です。

表2 矢本中央幼稚園の園児数と定員充足率の推移 (各年5月1日現在 単位：人)

| 年 度 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 園児数計 | 103 | 89 | 79 | 74 | 64 | 53 |
| 4歳児 | 52 | 36 | 44 | 35 | 26 | 24 |
| 5歳児 | 51 | 53 | 35 | 39 | 38 | 29 |
| 充足率 | 73.6% | 63.6% | 56.4% | 52.9% | 45.7% | 37.9% |

※矢本中央幼稚園の定員は、140人

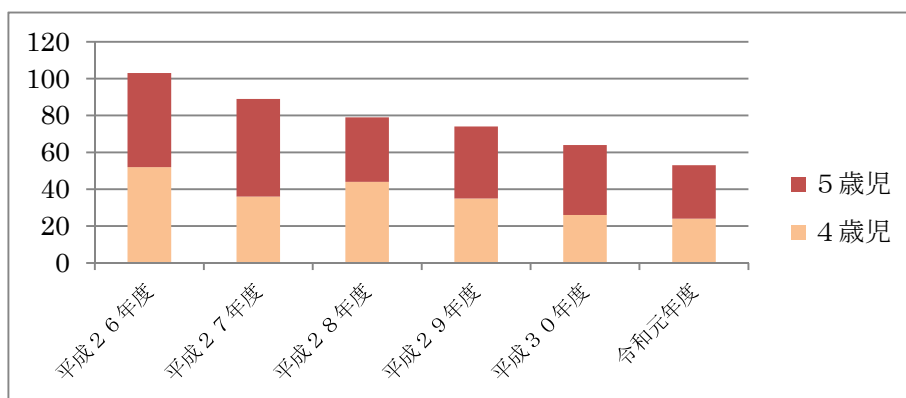


表3 市内幼稚園の定員充足状況

(単位：人)

| | 矢本中央 | 矢本 はなぶさ | 鳴瀬 | のびる | 合 計 |
|------|------|------------|-----|-----|-----|
| 定員数 | 140 | 200 | 220 | 120 | 680 |
| 園児数計 | 53 | 173 | 172 | 96 | 494 |
| 空 き | 87 | 27 | 48 | 24 | 186 |

(2) 幼児教育の無償化

国による幼児教育の無償化について、令和元年10月から幼稚園、保育所、認定こども園及び地域型保育を利用する3歳から5歳までの子供たちの利用料（上限額月額2.57万円）と利用日数に応じて、最大月額1.13万円までの範囲で預かり保育の利用料も無償化されます。

無償化に伴い、私立と公立の保育料の負担額は同等（送迎費、食材料費、保護

者会費などは実費負担)となり、利用者負担額の軽減によりバス送迎、延長保育など保護者の幼児教育をうける場の選択肢が増えます。

(3) 矢本中央幼稚園の運営費等

市立幼稚園の運営費は歳出35,620千円(平成30年度決算額)に対し、歳入は5,384千円が保育料となっており、残りの30,236千円が公費(一般財源)で賄われています。

市立幼稚園に通園している園児一人当たりの市の財政支出は、私立幼稚園に通園している園児と比較すると約8.9倍となっています。

また、令和元年10月から保育料等の無償化が実施されると市立幼稚園の運営費はすべて公費(一般財源)で賄わなければなりません。

なお、現在の園舎については、昭和58年築の施設で建築後35年以上経過しており、維持補修や経年劣化による老朽化も懸念されています。(表4)

幼児教育をコスト面のみで量ることはできませんが、コスト意識をもった適正な幼稚園運営を行いながら、幼児教育の質の向上を図ることも重要です。

表3 幼児教育の無償化前後の予算比較

(単位:千円)

| 区 分 | 無償化前 (平成30年度決算額) | | 無償化後 | |
|----------------|----------------------|---------------------|----------------------|--------------------|
| | 公立幼稚園 | 私立幼稚園 | 公立幼稚園 | 私立幼稚園 |
| 歳 出 | 運営費(人件費含む) 35,620 | 就園奨励費補助金等 57,882 | 運営費(人件費含む) 35,620 | 施設等利用費 150,978 |
| 歳 入 | 保育料 5,384 | 国庫補助金 34,267 | 保育料 0 | 国及び県負担金 113,234 |
| 一般財源 | 30,236 | 23,615 | 35,620 | 37,744 |
| 合 計 | 53,851 | | 73,364 | |
| 園児数 | 64名 | 449名 | 64名 | 449名 |
| 一人当たり の財政支出 | 472 | 53 | 557 | 84 |

財源は、国1/2、都道府県1/4、市町村1/4、公立施設は市町村等10/10の負担割合。

表4 矢本中央幼稚園の施設状況

| 施設名 | 敷地面積 | 建物 | | | 整備年 | 経過年数 |
|---------|----------------------|-----|--------------------|----|-------|------|
| | | 構造 | 対象面積 | 階数 | | |
| 矢本中央幼稚園 | 2,916 m ² | RC造 | 697 m ² | 1階 | 昭和58年 | 36年 |

4 矢本中央幼稚園のあり方について

現在の取り組みとしては、幼児教育の充実と在園児に配慮しながら、運営検討委員会において将来方針の検討を行っている。

○東松島市立幼稚園運営検討委員会

・開催回数: 年3

・構成メンバー: 市内幼稚園・保育所の代表、保護者代表、行政職員